

資料提供	
平成22年10月15日	
担当課 (担当者)	県立博物館 学芸課 (有川 智己)
電話	0857-26-8044

自然資料紹介コーナー

「わかってきたかな？とっとりのタンポポの正体！」 の開催について

鳥取県立博物館では、現在、1階、自然常設展示室の「自然資料紹介コーナー」において、今春行いました「タンポポ調査・西日本 2010 in 鳥取」の結果速報についての展示を行っております。広くご案内いただきますとともに、取材について、よろしくお願ひします。

- 1 趣 旨 今年の3月1日から5月31日まで、西日本の19府県で、いっせいにタンポポ調査が行われました。鳥取県では、学校や市民のみなさまの参加によって集まったタンポポの数は、昨年の予備調査分をあわせて2263個になりました。今年の調査でおよせいただいたデータは、現在検討しているところです。全体のとりまとめ結果は年度末に公表されます。この展示では、鳥取県内の結果を速報し、鳥取のタンポポについてどんなことがわかってきたか、紹介します。
- 2 展示期間:平成22年8月27日(金)~11月25日(木)
(10月8日に展示品や調査結果を追加しました。)
- 3 展示場所:自然資料紹介コーナー(1階自然展示室内)
- 4 初公開! クシバタンポポ精密複製模型、タンポポ各種の花と種のアクリル封入標本
- 5 今回の調査で示される主な結果
 - ・鳥取県には圧倒的に外来種が多い。全体の88%。参加19府県中最大。
 - ・関西では普通のカンサイタンポポは、鳥取県では智頭町以外ではとても希。



写真左：展示風景、写真右：クシバタンポポ精密複製模型と、アクリル封入標本。

案内パネルと解説パネルのファイル(pdfファイル)あり